

光中生徒会長が

一日浄水場長に



一日場長
石川泰計君

六月二日光光中学校生徒会役員一同は、水道週間行事の一環として、九十九里水道企業団光浄水場を見学しました。

この日生徒会役員一同は、午前九時浄水場職員に迎えられ、役員を代表して石川泰計会長が一日場長の辞令交付を受けました。このあとさっそく浄水場職員の説明を受けながら、機械室や消毒されたきれいな水が家庭に流れるまでの過程をつぶさに見てまわり、担当



生徒会役員

者に質問を行うなど熱心に聞いていました。また午後には、浄水場職員と座談会を開き一日の仕事内容や今後の計画などくわしく説明を受け、午後三時一日場長の大役を無事終りました。

広げよう献血の輪

「愛の血液助け合い運動」始まる

七月一日から一か月間、「愛の血液助け合い運動」が全国的に展開されます。

夏になると暑さで、献血者が減って献信用血液が不足するたに、皆さんの献血を呼びかけるわけです。この機会に運動の趣旨や献血者の現状、献血できる人の条件など、献血をめぐる話題をお知らせしましょう。

血液の供給量はまだ十分ではなく、とくに夏と冬はどうしても不足がちになります。そのために、病院では患者を通じて一定量の血液を集めることをしばしば要請し

ます。しかし、友人、知人から献血を仰ぐといっても限度があり、患者の家族の負担は大変なものです。そこで、医療に要する血液を献血

によって十分確保しようと毎年、日本赤十字社などが中心となって推進するのが「愛の血液助け合い運動」です。

血液の需要は疾病の増加などから、増えており、現在の状態では血液不足は目に見えています。

「献血を通して人と人が助け合い、つながり合う」という精神にそって、献血の輪を広げましょう。

献血の出来る人

献血の趣旨には賛成であっても、中には献血できない人もいます。できる人の基準は法律に定められています。簡単には年齢が十六歳以上、六十四歳以下、体重は男性が四十五キロ、女性は四十キロを超える方で、前回の献血から一

か月以上たつていることが必要です。女性の場合、妊娠中とか産後六か月以内の方は献血できません。献血にあたっては医師が問診、視診、血圧測定、血液比重の検査、血液型の事前検査などの健康診断を行います。その結果、不適當と診断されれば、献血できないことがあることを、ご承知おき下さい。献血一回の量は二百cc、およそ普通のコップ一杯分位です。太い注射器で、そんなに血液をとられると「貧血になるのでは？」とふと心配になる人が多いようですが、身体には造血作用があつて、数日で元通りになります。もちろん日常生活や健康にも差し支えありませんので、仕事を続けても大丈夫です。

熱戦を続ける

町内野球大会

雨で一週延びた町内野球大会もその後、順調に進み現在二回戦を

終り、Aゾーンでは早くも準々決勝にコマを進めたチームもあり選手も一段と熱が入ってきました。

今後も毎週日曜日に町営球場で行われますので、応援をお願いします。

結果 二回戦 (六月十一日)
ケロヨン 3-1 尾垂ポッシュ
サファイヤ 17-11 辻 B

“お盆も生活改善で”

生活改善を推進しましょう

昨年十月から町では皆さんのご理解とご協力で諸行事の簡素化を行い、実のある冠婚葬祭になるよう呼びかけています。

お盆も間近に迫り故人を偲び、供養する時期となりました。

今年からは生活改善で、お金をかけすぎないお盆にしましょう。新盆の取り決めは、次のとおりです。

- 一、見舞金 親類及び特別な関係者以外は五百円以内とする。
- 二、見舞客の接待 お茶程度で簡単にし、お返しは廃止する。
- 三、祭壇 簡素にし、生花は一对、ちようちは四個までとする。

町民一人一人の自覚で生活改善に、なお一層のご協力をおねがいます。

◎広報係から

広報係では、みなさんからの投稿を、お待ちしております。

町内のニュース、町への希望等ささいなことでも結構ですので、どしどし投稿してください。有線での連絡は、二一四一〇一へお願いします。